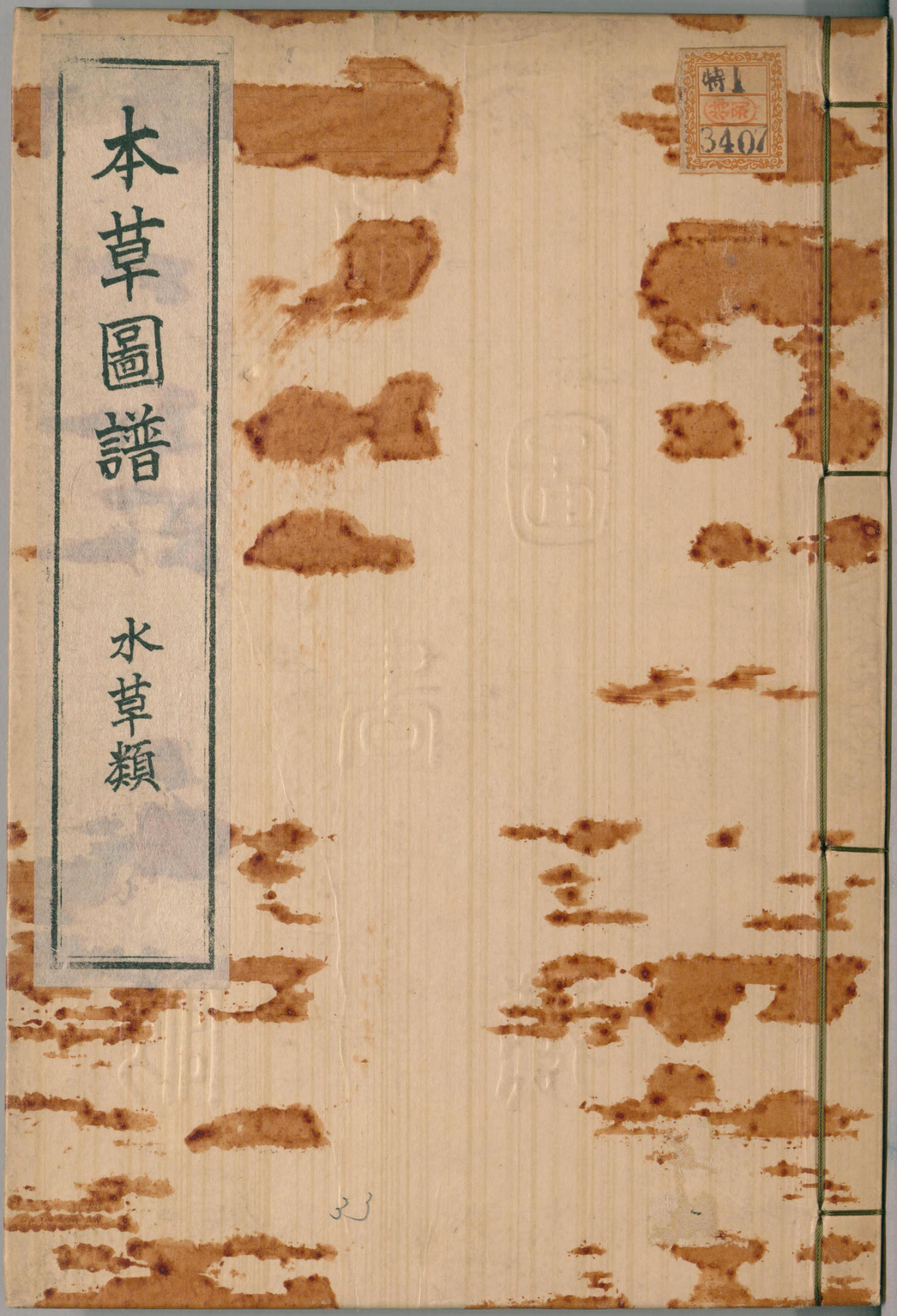
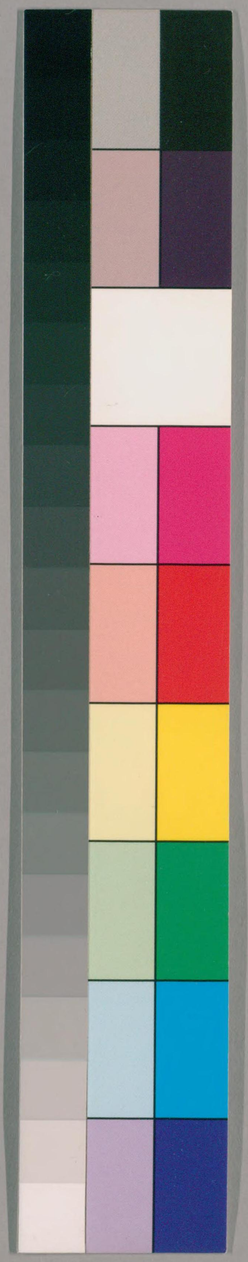

本草圖譜
水草類
特1
3407



国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

特1
3407

本草圖譜

水草類

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

特1-3407

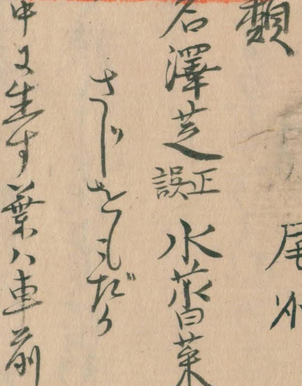
本草圖譜 巻之廿三

東都 尾州 岩崎常正識
高橋順翼文校

水草類

澤瀉 一名澤芝 正誤 水苦菜 本草 おもだか

おもだか 本草 和名抄 正



奥州の水澤中に生ず葉ハ車前に似て圓く莖長く横
脈あり秋一莖を抽て枝末晝く三枝となす苑白色三瓣
形野茨菰とも又ハ極て小なり實ハ蜀椒に似て又小葉の味淡
苦し根ハ別る塊を生ずるもあり毛多く味鹹～

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

仙臺ヨリ出ル物上品ナル又唐種ヲ植テ生スルモ同ト形状共ニ
同ト

一種　いらかもだら　あぎなし　おもなるを取てあぐなし故ニあぐなし
處ニ水澤中ニ生ズ形状さゝりわもだらニ似テ白ク狹ク莖葉根彩同ト
澤瀉ナリ

一種　まるぞもだら
八澁蕾みづあおいニ似テ硬ク光澤アリ又蕾顔ニ似テ
深緑色花ハ澤瀉と同ト

池澤ニ稗ニ生ズ蕾

一種　武州落合邊の流水中ニ生ズ葉叢生燈心草の
如クニテ短ク二三寸歟ナリ根株堅固ナリ

蒲草　ちき　鉄釵　みずあおい

水澤中ニ生ズ初生ハ澁澁ヲ含テ小ク深緑色光澤アリ
漸長スレハ竹柏ニ似タリ秋月穂ヲなして花アリ
六瓣青碧色後小角ヲ結テ下ニ向冬月ハ苗根枯ル

一種　みつもちぐび　渠名浮蕾三才圖會

即みつるき大ニシテ葉大ニシテ圓シ花
九六月大ナリ白花淡紫花等モアリ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

羊蹄　ぎしぎし　和大黄

水澤の地に多し四時垂布り形莙蓬菜に似て長く又酸摸あり（なんがら）に似て緑色夏月高さ三四尺穂を出し花三瓣淡緑色黄蕊あり實に三稜ありて莙蓬の如し根い大黄に似て黄色稍澁あり功も大黄に似て力劣る

酸摸　すいば　すかんぽ（江戸）　すめのえくま（上総）

田野堤等に多し宿根より生ず葉は羊蹄に似て短く圓くして初生莖夏月莖高さ二尺許一莖羊蹄に似て紅色根も羊蹄の

（朱）酸模　すいば

似て黄色味酸し

麝香草（古今録附）　ひろもち（江戸）　ひろもの（江戸）　びりこ（信洲）　ひりもの（津輕）

かさのつら（羽洲米沢）　ときる蝦夷　澤名一名眼子菜（救荒本草）　天童草（諸藥集）

夏月水田中に多く生ず竹葉に似て短く光澤あり水面に浮ぶ又狹くして三分ばかりの物あり皆並び細くして蔓の如く互生す秋月穂を生ず水上に出形馬藻（やなぎも）に似たり六月蘗苗を採陰乾にして服すれば食傷宿酒を醒すの妙ありまた蓋の苗を加えて尚良

麝香草の功稍劣る

一種　流水中に生ずる物根水底に在りて生ず葉甚

細長毛髪の如く淡水面に浮ぶ葉ハひろもと同じ

龍舌草　みずおもだか

なおもだか　江州

夏月實ありて水田中に生ず葉ハ車前に似て薄く水中に在ハ葉長く狹く又狹長葉の物あり時珍の説に根但し秋月水上に出て花を開く三瓣白色微紫紅を帶大さ四五分實ハ三稜胡蘿蔔と云ふ合ひれども一種なるべし

一種　武州三河嶋稲荷森水田中に圓葉の物あり形沢瀉みづおもだかに似て薄く花ハ同じ

菖蒲　一名水中泉　本草綱目引錄験方　水精　同書引范汪方　荃　文選　石昌　白菖　集解

本草綱目　吹喜　群芳譜　蒲　集

キウヒユアコリエヌス　羅甸

溪澗水側に生ず葉ハ馬蘭に似てやゝ狹く四時凋ず潤さず分長さ一尺餘平にて光澤あり両邊方なり根ハ節ありて蜈蚣むかでの脊の如く緑色肉滑紅良香ありて味辛し夏月葉の中より穂を生ず嵐尾の如く鞘甲ありて黄と白間ら成れり實ハ生ず

荷蘭の説

習景及寺珍話巻之の溪蓀水菖蒲精是なり

水のこり傳漏病ニ口ら含ハ覚てもと疑なし又服の昏暗ら

滴水す

一種　やらい草（蓬萊草）　濃州美濃老の瀧に産す水側に生じて根長く直立一背脇共に根と生ずる也葉ハ根と共に他處に移すも亦両根ある所に生ず

一種　ありすい草　有栖川家漢土より種とり来ると云一葉ハ横に生ず池南雅史

一種　福建蒲（細長く直立と雖ども葉ハ蒲に似せざる）　景濶さ二分長さ三四寸陸地の石上に生ず（池南雅史）

一種　みらでせきせう　かくらくまで葉先非

の如くして軟なり文化年中清高呂宋より著西湖の邊の石菖と持渡る唐山より泉州蒲茂短黒と云足なり

一種　びろう石菖　是ハ金銭（池南雅史）なる如く長さ四五分大さ銭の如し一是金銭と云

又別に玩賞の品ハ黄金と云ハ黄緑の間道にて全く黄色なるを云

さらひげと云ハ白斑の筋なり　正宝ハ全く白し　磯雪ハ根の本白色なり貴重多し

白一白　あやめぐさ　せうぶ　端午ノ菓子ニ捕ル

其ノ葉ヤハラカニシテ泥中ニ生ス葉潤ク長サ三四尺

劍脊ナリ冬ハ枯ル根肥大ニシテ節アリ腥氣アリ

柿ノ葉ノ劍ノ如キ實アリ擬モノ毬ヲ成ス

一種　わかせさうし　山中自生ス四時凋ズ

石菖中ニテ肥大ナル物ナリ形狀石菖ニ同ジ是時珍説ニ云ヘルノ溪蓀水昌蒲ナリ

香蒲　名蒲黄ト云ヒ附方ニ雖ト本草ニ蒻ト同上　みすがま　本草和名　ひらがま　仙人ノ杖　山谷　こもす　蝦夷

水泥中ニ多ク春月宿根ヨリ生ス水仙葉ノ如シテ潤サ三分ニ高サ四尺許六七月莖ヲ抽テ五尺許穗ヲ生ジテ圓ク大母指ノ大サ三四寸ヲ下ヲ漸ク蒲槌ノ如シ一名蒲棒本草ト云其上ニ花アリ黄粉ヲ散ス風ニ隨テ散ス即蒲黄ナリ葉頌ノ説ニ蒲黄ハ即花中黄屑也ト云是ナリ實熟スレハ黄茶色乾シテ尖口ヲ造ル又白芽アリ春ヲ採テ尖口ヲ剥ス根ハ白色大指ノ大サナリ

一種　ひめがま　形狀相似テ潤サ三四分高サ二尺花實モ同ジ

一種　水蠟燭　廣東新語ニ　ねんざやく　中儀　奥州十府ノ産ナリ形狀ひめ

がまの如て硬く一方曲がり此物を織る席とす
と云漢名 端州蒲席 (嘉祐本草圖經) と云是も秋月苑穂と生ず
蒲黄女く蒲槌二層を生ず

蒻 一名菰兒菜 (救荒野譜) おもだか
ちまきぐさ (和漢三才圖會) まるばつこ (八雲御抄) ウンチヤキナ 蝦夷
アリエンドリイト荷蘭の一種 (和名鈔) かつこぐさ (藏玉集)
生す嫩苗竹筍の如く長すれハ高さ三四尺ばかり而て長き脊
莖高さ四尺許穂を生ず形薏苡に似て粗く深紫色奥州の産ハ
實多く一分許て両頭尖りて米の如し 即蒻米 一名彫蓬 爾雅

なり大和本草ニ沙蒻米ハ蒻根の粉なるべしと云り 秋時根上の
脩ゝ筍ニ似たるものを生ずるをおもつの (和名鈔) 今呼んでもつと
呼即蒻首なり其筍熟すれハ中ニ庶ゝ似て黒色なる物あり
これをまこもずと又これをつらともつらとも云即烏蘞苺なり婦人髪を
塗るものなり

苦草 せきせうも 江州
江湖の深水ニ生するもの ○蒲葉ニ似て先圓く色らの如し
故よへらもともいふ 根髭根ありて水底ニ生す又鹹水ニ
生するものハ葉の周りぎざぎざの如し故ニさらきりもと云又

へらもとも云

水萍。 各青萍 水竹蘇 蘋集解

釋名水花 本經 水白 別錄 水蘊 別錄 ワートんりこせん苗 紫背浮萍 時珍

夏月池澤中ニ生ず水面ニ浮ぶ二分許ニして正圓三葉 一顆ともいふ 附四五葉生ずれバ自ラ分ち面光澤ありて皆ツ戟ニ 葉下ニ鬚根あり 表青裏紫 時珍說ニ葉の狀 浮萍ともいふ

一種 あとらきくさ 青萍 附方 葉稍小ク 楕圓ニして 面背葉綠色 裏紫 是青萍 附方

一種 ひんじも 水面ニ浮ぶ 一莖ニ三葉 品中の形 なり 水中の網の狀

一種 あらうきくさ 田澤中ニ多シ 一柏葉ニ似て 裏青ク綠色 秋頭ニ至れバ紅紫色ニ 初生ハ綠色 なる 萬畢術云老血化為萍 萍ハ自有ニ種 其の萍苗ハあらうきニ似て 雜草部の滿江紅と 同物ニ似 一葉居ニ して是ニ次ぐ 浮萍と名け 食ハ誤なり 用ゐべからず

一種 ナフクリ形 水田中ニ 水上ニ浮ぶ 形 銀杏葉ニ似 又蓼ノ葉ニ似 葉ノ裏紫 故ニ名づく

蘋　一名鱗鼈（水鼈）（漢書集注時珍）

ひろのそう　ちゃんぐも　ごちめぐさ

池澤の水中に生ず葉ハ三稜の別ありて背に水沫の如きものあり莖ハ直立して高さ一尺餘ありて枝なし水面に浮ぶ葉ハ水上に出ること一二寸ばかりにて形野蒜の如し實ハ赤小豆の如くなり時珍の說に田の草を以て蘋となすは誤なり呉音ヒン花白藏器大者為蘋なり

ひぐ田の草を掬す　根ハ蓴菜に同じ

萍蓬草　胥蓬　勝蓬　川胥　契勃　書蓬　かえる花

たいうのごとし　形ごとし　カハト蝦夫

ヨイムパ羅　プロムペンウアトルリーシ布蘭

池澤の水中に生ず根の形蘭香の如くにて水底を匍ひ節ごとに葉ハ水上に抽ん又流水淀き處にあるハ葉水に浮ぶ葉ハ水蓮の如く又昌蒲の如し花ハ蕣に似て水上に出ず五瓣黄色形金鳳花に似て蕊紅色なり

蓮　ハちすと訓ず　水中

長一丈餘なるもあり　細長莖中空蓮根と同じ　駿州宮川の河口に多し

一種　ちゃんぐも　水中

一種　ひめのくさ　花葉莖浮萍草に似て小し　花黄色

一種　ひめのくさ　花葉莖浮萍草に似て小し　花紅色

一種　ひめのくさ　花葉莖浮萍草に似て小し　花白色

蓮ハ花葉莖實ともに食ふべし　根ハ生にても煮ても食ふべし　藕ハ蓮根なり　蓮ハ花葉莖實ともに食ふべし　根ハ生にても煮ても食ふべし　藕ハ蓮根なり

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

一種　べにかるかや　葉ひろく花紅色なり

一種　ちんきんかるかや　葉の形菅草の同じ　辨黄色形尋常のかるかやの同じ

一種　睡蓮　こひん 大和本草　ひつじぐさ　深き處池澤の水中にあり　葉根より生ず　葉は菅草あさざに似て大なり　梢花色を帯ぶ　花は菅草の花の如くにして長一寸餘　黄四辨内の蕊淡紫色四辨の白色　舎七八辨未の刻水上に開き日入て水中に入　實根なり

一種　らエイシヤ　和ランプ　ウアルリー　蘭

菅菜

一種　蓴　武州多摩郡にて菅根より出る葉を採て食す　一名莕菜 顧氏庶訓　ぬなわ　見苗云沼縄の意なり

峯峨の大澤の池伏見宝沼の池その外水面を浮ぶ菅菜あさき清水の池より春菅根より生ず

一種　白あさざ　下総井池澤に多し根泥中より生ず夏月葉の莖より花と生ず形小菅菜あさざに似て葉白色後中実ニ結ぶ根は細き縄の如し

泥中引赤褐色なり

水藻　かるも　さるも　みづも

馬藻　牛藻 郭璞注爾雅　一名莊草 救荒本草　やろさ　さるも

水底より春月生ず葉は柳に似て長く周り鋸あり水中に浮て

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

水上ニ生ジ春頃ヨリ一二寸許ノ穂ヲ生ジ
形眼子菜ニ似タリ然ドモ一種小葉ノ物ナリ形小柳葉ノ如ク互生長
サ一寸餘花實ハ同ジ

聚藻　ふさも　きんぎょも　くさぐさも　江戸

水中ニ多ク叢生微紅色ヲ帯テ長サ二三四尺節毎ニ細線
葉周リ附鳥毛ノ如ク花ハ長キ穂ヲ出シテ淡紅色ナリ
金魚鯉等ノ好ンデ喰ヒ卵ヲ附ルモノナリ

一種　たちも　水地ヨリ生ジ水上ニ出テ繁茂ス
形キンポウゲニ似タリ武州下石神三寶寺池辺最多シ

一種　稲田中ニ生ジ特生シテ高サ二三寸ノ物アリ

一種　まつも　江戸　形状蓬ニ葉ガ松葉ニ似テ小ナリ

又松葉ニ似テ小ナリ

一種　ろべも　形状まつもニ似テ毛ノ如ク一節ニ

二三葉ヲ附

一種　牛尾蟲ノ如キ物ニテ水ヘンケル有
ウアトルヘンケル有
蘭

野州日光山大日堂ノ池中ニ多ク形状まつもニ似テ小ナル花ヲ水上ニ出テ開ク

一種　こうほね　下総中山辺流水中ニ河骨ニ似テ小ニ香ヲ
似テ短ク葉ノ奴ヨリ小黒ノ如キ刺ノ多ク着夏月穂ヲ水上ニ
出テ花アリ柳ノ牙魚ヲ好ンデ此ノ花絲ニ似テ黄色ナリ是故ニ本草ニ

水草の名なり

海藻惣名 馬尾藻 なのりそ 万葉集 だんめさう

ぎんむさう ちんがうさう

形状馬藻やうなれども枝ありて海中に立ち又細柳の如く微黒色

「奥州産の葉長一尺ばかり色黒く厚く金属光ある物」「葉薄くして細く糸の如き実ほしとなる物」

と帯と長さ三四尺葉間に實と結ぶ中に立ち又

音なり

一種 大葉の物あり(俗に昆布蘭ささめこぶ)と似て色黒さことよし

大葉藻 藏 あちも 播州 もしほくさ 勢州 すげも 江州

ほらぐさのごとひめのもとゐのきれそづ

是亦海中に生ず時に緑色

後白色に變ず

海藴 もづく 和名鈔 もうれく 京

長さ一二尺にて枝なく緑色を帯と粘滑あり生食す

産毛髪の如く緑色を帯と黒色を

海帯 がんめ 奥州 わかめ 南部 みつわかめ 仙臺

奥州南部の海中に産す潤さ一寸長一尺乾ときは白粉

を生ず土人食と

一種 裙帯菜 食物本草 わかめ

潤さ四五分長さ二尺許薄くして味長

一種 黒菜 おらめ

海中の産ず黒色

…て數ヶ所より軟ら…も食用す

昆布　えびすめ 和名 鈍　ひろめ　こぶ　ちゞれ昆

蝦夷松 別海より産す 屋を葺とよ 幅一尺長さ八九尺人

形海帶ゝ如て 淵大 食用す

一名翹玉竹 竹俗 さきのそうめん　うこやみぎ　うみかんぶ

趙王餘算

諸國の海中に生す 四國紀州和州等の海より 長さ二尺大なる物を出す 蚯蚓

灰白色の骨の如き物

貫ちり本末共り細く中あとく 床白色骨の如く重長さ

紀同

…諸國の海中に生す 四國紀州和州等の海より 長さ二尺大なる物を出す 蚯蚓

灰白色の骨の如き物

貫ちり本末共り細く中あとく 床白色骨の如く重長さ

東都
門人 岩崎常正 著
高橋蕃 校正

石草類

石斛 すくろひこのくさ 和名鈔 いはそこ 同上 みれくら 同上 ちくらん 薩州

豆州黒戸山八丈嶋三ツ根村其餘諸國の山中山谷上る等〻

莖八木賊とく の如く長さ三四寸の間ゟ三四節ありて一節と毎ゟ葉八鴨跖草つゆ草 に似たり又紅色淡紅色 建蘭 ゟ似たり又紅色

魚骨又鳥羽の如きものあり

一種 琉球珊瑚 かいさんご 形うさまる

似て枝肥て朱紅色 珊瑚 の如きものあり

一種 質軟く水松みるの如く羅紋を生ず物あり

水松 みる 海中石上ゟ生ず形松蘭 まつらん に似て肥大軟ゟ食料とゝゟ又賞翫ゟそなぐみる と等しく長さ三四尺形八同〻

淡黄色等数品ありて（根ハ蚯蚓のごとく細く庚白色木石ヨ粘す）延年浪華ヨリ種類ヲ集メ玩賞ス莖ヨリ細長なるもありて蛙の股のごときもあり葉ヨリ又葉ヨリ金盥銀盥狭長あり又圓葉指甲のごとし（金絲紋銀絲紋）間道白斑等其數種ヨリあり

一種麥斛（蕪菁）むぎらん（苑声）いぬまめ（幣）

いぬらん（土州）豆州紀州勢州等の大樹皮ヨ貼して生ス莖ハ大麥の如く一莖ヨリ（頭ヨ）數千莖並び生ス夏月白花ヲ開く

一種石斛（唐石斛苑声）むぎらん細小なるもの

一種ささらん（紀州雄野ヨリ）

崔嵬斛（蕪菁）

一種唐石斛（石長ヨリ）

形状麥斛（むぎ）ニ似て長大箸の大さヨして長さ五六分（頭ヨ）二葉ヨ生ス又大なり苑も麥斛（むぎ）ニ似て大なり

骨碎補　せいふしぎ（四時凋ず野傍ニ働ニして小指の大さ）

暖國の山中石上ヨ生ス根の草蘚あるごとし（蘚ハ又は苔ともいふ苔ヨ似たり苔ヨ蘚ヨ各異あり）又蔓ヨして延ビ葉ハ又は苔葉又は苔葉ニ似たり苔ヨ蘚ヨ各異あり）葉ハ三七ヨ似て硬く又小呉風草（かるかや）ニ似て薄く（薄く長さ一尺許）枝葉ヨ無して梗莖ヨ生ス根ハ筆管のごとく（藥須宝鼎珍等皆ヨ多し）

一種加州の産ハ形状相似て葉根皆少し（一種するのせうがごとくにして根ヨ骨碎補ニ似て細く毛ヲ葉ヨ貫穿ぜるが如し）

一種海州骨碎補　證類本草の圖

一種　ヒのぶ　處ヨ深山の木石ヨ（軟く毳毛多し）生ス根ハ筆管のごとく蔓延す猶毛あり葉ハ海金砂（ぬ）の

楕葉ヲ似テ細密ナリ冬月葉凋テ根枯レズ

一種　かんちのぶ　たちもの　小雀毛草　山葦部　薗通侍

ものゝ如ク似テ叢生一本上ヲ生ス　諸国深山ニ多シ形

實ヲ結ヲ能生ス　山葦部　薗通侍　四時凋ズ葉背ヨ

一種　いとのかね　本草和名　いとぐさ　和名鈔　いしのえうち　藻塩草

山中陰處石間ヲ生ス根ハ筆管ヨリ細ク石上ヲ匍延一節

一葉ヲ生ス幅一寸長サ五寸ヨリ尺ニ至ル　大ナル物ヲ幅三寸長サ二尺

花実ヲ生ズ　莖黄色數度ヲ似テリ四時凋ズ又狹葉ノ物アリ

一種　本草名義抄　きんさご　葉短クシテ形七ノ如ク腰ヨリ二ツ

許リ孔アリ時珍ノ説ヨ杏葉ト云ヒ是ナリ

一種　けんとんらん　形石韋ノ如クシテ葉

ノ先ヲ兎耳ノ如ク雛ヲ一二ヲ生ズル物アリ

一種　いとかもだり　ミイハム蝦夷ヨリ生ス　豆州戸八王子

諸國山中岩石上ヨ生ス一根叢生葉幅三

四分長サ三四寸形金星草ニ似テ葉背ノ星長ク形蛾眉ノ

如ク

一種　いとみの　岩石上ヨ生ス一根叢生葉幅三

四分長サ三四寸形金星草ニ似テ葉背ノ星長ク形蛾眉ノ

如ク

一種　本草名義抄　きんさご　葉短クシテ形七ノ如ク腰ヨリ二ツ

許リ孔アリ時珍ノ説ヨ杏葉ト云ヒ是ナリ

一種　けんとんらん　形石韋ノ如クシテ葉

ノ先ヲ兎耳ノ如ク雛ヲ一二ヲ生ズル物アリ

一種　いとかもだり　ミイハム蝦夷ヨリ生ス　豆州戸八王子

諸國山中岩石上ヨ生ス一根叢生葉幅三

四分長サ三四寸形金星草ニ似テ葉背ノ星長ク形蛾眉ノ

如ク

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

葉の本より莖立なり
一種 葉厚く幅濶く短くして茎なり 集解 藤恭 のきのしのぶ

からすのひしゃく 州 やつめらん 江戸 花戸

一種 葉ハ柳の如く背ヨリ黄色の星行り 又本草ニ生ず 葉ハ柳の如く背ヨリ黄赤色の星行り 又本草ニ生ずる物なり

一種 いとひげ 尾州 本草 まつむらん 諸州の庭除山中皆あり

山ヨリ出ル葉幅一分餘長七八寸建蘭の如し

一種 ちくらん 京 さくげらん 尾州 かせらん 江戸 花戸

深山の岩石上より根莫の如く処ニ一葉ヲ生ず 形芭蕉に

似て短く葉先圓くして黄花 集解 藤恭 頗の類なり 花石皮

金星草 やくひとそで

紀州 和州 豆州 下田及八丈嶋ヨリ多シ 根ハ

葉ヲ生ず石苔ニ附て薄く背ヨリ金星行り 花實

なし 幅一寸長サ四五寸許背ヨリ井桁事の物の如

一種 葉短く本圓くして末尖りたる物あり

一種 金雞脚 薬性 要略 みつでうらがー 岩石上ヨ

生ず形金星草ニ似ておく葉細く糸の如く葉三尖

ありて雞の足の如く背ヨリ金星行り

一種 尾州より来る葉の周圍ヨリ花叉行りて 椰子頭

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

物産小識ニ云 通泉草葉似地丁中抽莖 花黄一名石橋

一種 ぬりこの尾張州

銀杏ふ(ハ)その葉形ニ似ておく左右無し(ニ)附 莖毎黒色漆ノ如

通泉草 財(ニ)用て掃帚トなす(べし) 名充瘡花 物理小識 長生(ス)

一名 かまつかる 上

えぞ多 奥州 かてらけな 同 上

むきめ(ニ)で 江州 あぜな さきざき 江戸

平原湿地ニ多シ 一根 扁根より生ず 葉ハ花ヲ抱テおく

對生(ス)一地ニ 節間さとふ(ニ)根ヲ生ず 春月短莖ヲ抽ンで花ヲ開く形卅参ニ似さき 淡紫色 又紅花の物あり

一種 なつそぜ 上 下 庭際ニ夏月生ず 茎葉ふとて

一種 ぬきもの(ニ)ハ似て岐なく 石長生ヲ雑ぬるごし

きちまのりんざ 越前 からすまくさ 江戸

諸國山中石崖の間ニ生ず 莖細く漆ノ如く 春黒色ニ

色葉ニ形烏韮(ほそ)ニ似て大なり 一根叢生す 夏月新葉

ヲ生じて紅色なり

一種 えぞ松ざさ よめのそし 能州

くろそさ 州 おんなざさ 越後 まるばのくまざさ 江戸

相州箱根及大山 叡山ニ多シ 深山ニ生ず 莖ノ形蔵(ル)ニ似ておく 葉色 春ニ深緑ニ

して 冬ニ至て 漸く 葉ハ

枝葉對生し花小く淡紫色をなす物

一種　あきそせ　形状みつてせそ似て小く淡紫色なり葉生

一種　細長葉ありて湿地草やぐらの如く色淺く光澤なく

莖ハさきさくるに似て小く淡紫色なり

一種　あぜそせ　葉容る事り淡紫色を沢ふくる

一種　みづかうづき　形さきさくるに似て葉圓くして

土形似なり夏黄花のさきさくると云　姥蔥蔓夏の如く生上る引

莖五稜黄色實ハ房なりて酸漿に似たり

石蒜　まいづるさう　江戸　相州七里濱房州海邊砂

地に宿根より生ず一地より引て蔓の如く節ごと根と生ず葉ハ馬

世六卷景天

畫莧ひよう　一名佛指甲　本草　いきくさ

秋月葉間より穗を生ず形地衣に似て小く淡紫色を開く

べんけいさう　江戸　ちるめくさ　勢州　いたやくさ　正新撰

人家庭際に栽春月宿根より生ず莖ハ肥大高さ二尺許葉

ハ冬青に似て石ゐく粉綠色二葉對生ス秋月梢ゟ

房となりて色ハ五瓣淡紅色又白色もあり

一種　おちそせぜや　形狀景天に似て葉わく狹く

二葉對生ス色淡綠色形景天（べんけい）と同じ

一名　産す形ハ長んげ似てふきのあり

一種
一種　茎々常の如くにして茎紫色三葉對生する物
紅富天　葉背
紅紫色　互生　葉も亦紅色
一種　つるべんけい　尾州より来る
天と同ー　みせさくさう
一種　互生ー蔓弱く地を匍ひて生ー葉
紅色を帯ぶ　葉對生ー葉
火秩　廣東新語　慎火　珍玩考引南越志　覇王鞭　花暦百詠
慎火樹　弘景一名龍骨木　桂海草木志　きりん
花知春住ず　異國より渡る　熱國の産ゆえ未だ事ー実

近頃本邦へ渡り多く栽　甚寒を恐る　人家に
稜ありて　枝ごとに　葉
春月　華開く三分餘の花冠四瓣白色
晝天ー似たり　葉と擬ば白汁出ず詩
蕚黒色　葉と枝の間に
圓名慎火樹　馬志　廣東新語　轉慎火一名戒火
其形如火始然又名火秩　偏者不枝不華　圓者多枝葉蕾
生成樹四稜有芒刺皮中有白漿　又物理小識云覇王鞭
刺作籬断汁甚濃又桂海草木志曰龍骨木
骨又花暦百詠云覇王樹一種方長類鋼者号覇王鞭

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

本草

一種　花ガク形冠形ノ如シ　茎葉ハ馬蓼ニ似テ互生ス　花ハ佛甲草ノ如シ　葉ハ水馬蓼ニ似テ稍ヒ大ナリ

一種　こまん秋さう　ひめれんげ　濃州三洲の山中ニ自生ス

葉小圓ニシテ短ク莖ニ互生ス　莖葉共ニ紅色ヲ帯ブ　秋月ニ至リ花ヲ開ク　佛甲草ノ如シ

一種　えみづき　石上ニ生ス　葉圓ニシテ短ク莖ニ互生ス　莖葉ハ佛甲草ノ如ク花ハ秋月ニ至リ紅色ヲ開ク

一種　まめごけ　木石上ニ貼ス　細蔓兎絲ノ如ク

諸説みなきつねのくさり　大戟類ニシテ皇天ノ属ニ非ス　其同名ニ因テ此條ニ記入ス　又昌蒲ノ説ヨリ分ツ

佛甲草　まん秋んさう　つまびらかならず

いつまでぐさ　葉細長尖リ石間ニ生ス　大和本草

此種小形ニシテ葉共ニ長ク三葉対生ス　濕地ニ生ス　いつまでぐさ

一種　葉圓ニシテ短ク莖ニ互生ス　莖蔓ニシテ匍匐ス　葉ハ馬蓼ニ似テ互生ス　莖葉共ニ紅色ヲ帯ブ　節間根ヲ生ス　夏月五瓣ノ小黄花ヲ開ク

一種　虎耳草　やまのした　きどんさう　深山陰地ニ多シ　人家庭除ニモ蔵ス　葉小圓ニシテ厚ク表ニ白斑アリ　裏ハ紅紫ノ毛茸アリ　色夏月莖ヲ抽テ花ヲ開ク　白色三瓣ノ小花ヲ聚ム　後二実ヲ結ブ　莖ハ根傍ヨリ紅色ノ長鬚ヲ生ジ鬚ノ末ニ子芽ヲ生ス　子芽ハ落テ地ニ着キ根ヲ生ジ苗ヲ生ス

一種　深山陰地ニ生ス　葉ハ虎耳草ニ似テ互生ス　莖葉共ニ紅色ヲ帯ブ　夏月莖ヲ抽テ花ヲ開ク　花ハ虎耳草ノ如シ　子芽ヲ生ス　子芽ハ落テ地ニ着キ根ヲ生ジ苗ヲ生ス

三一種　やつでおきのそこ　葉よまきくさやつでおもこ

四一種　やつでおもあり　葉よまきくさやつでおもこ

五一種　やつでおもあり　葉よまきくさやつでおもこ

後背淡紅色根鬚なく花の形大文字草となる故なるべし

前一種　青苔の如きもの水面に浮ぶ　野洲日吉山よりとる

一種　苔の如きもの水面に浮ぶ　葉背深紅紫色花

一種　苔の如きもの水面に浮ぶ　葉背深紅紫色花

前一種　青苔の如きもの水面に浮ぶ　葉背深紅紫色花

重複　十餘種　まて單雜の類甚多し

八一種　白き花よし　葉大きくして款冬の如く白毛あり

十一種　周りよ鋸歯あり葉緑色秋月花を開く形虎耳草の如し

一種　黄拳螺　山中自生の者は肥大なり　殻色

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号　特1-3407
ガラス使用

一種 なんぼんさぼてん 江戸さぼてん 京さぼてん つぼさぼてん
イロハ口 花水 タウナス 日上 ヨヒユンチヤ 羅句
ノーセチヤアンゼドウルンアウフロ 花蘭
仙人掌 観音掌 龍花 鬼面角 覇王樹 花経史
天竺の産なり 葉厚く 葉中に 葉の間 の間 の間 の間
甚だ怒る本邦も我此を育ず 駿遠の産 の間 の間 の間
間に大抵あり 形如此 似て而 葉 白色の刺あり
節 二四尺 して 優 文 到る 秋 開 花 葉なく
して紅黄色 黄 舊 葉 花 花 花 花 花 花 花 花
疣あり中 孤 似て丸なり 仁 花 花 花 花 花 花 花 花
自 度東 新 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花
見かぶ 人 見る 此花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花
以上牛 嚙 示 災 無葉扶 青 而 母 有数 枝 而 母 有数 枝 而
無可 獣其 入 目使 失 明 云 諸書 載 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆 皆
苔類 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花 花

二種 菊叩信州木曽 夏秋の間茎を抽 今白もを用 今五瓣の口
十一種 ちゝのしたくさ
十二種 いとおぎく 木曽 州 滝 州
葉の形 積雪草 圓く鋸歯 野州日光山 ありて
四種 艾蒿 やますそのそく 葉長く 加像 そ 長
一寸餘 幅五六分 又 年晴花 葉 も似 黄 夏月
二三寸の莖を抽て穂をなし 小碎黄花 聞く 根の傍
十九 一種 ちゝめぐさ 野州日光山の麓
髭と引 根と姉 苗と生ず
を毛葺 春月穂と生じて花あり 黄 王瓜 から
のごとくにて丸なり 形 多

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

十八 ちがやぐさ 諸州山野の産 葉の高山の産ハ葉ふとく斑有りて毛多し一名ハ

廿 一種 つたやくしも 信州 同じく紅大葉の物あり

する事あり故に名づく 駿州富士山 野州日光山等に多し 葉ハちがやぐさより小葉而三四分 生 茎ハ高さ七八寸 五瓣の白花を開く其実船の形

十七 一種 たきる 乙女ぐさ京 たきあふひ

やまさう 野州日光山より春月宿根より生ず 茎紅 葉大さ

掌のごとく圓くして 鈍刻 尖鋸歯あり 春月五瓣の花

廿七巻

石胡荽 ちどめぐさ京 うつらぐさ 江州 水蛭ニ吸ハせ血出と止ると云 ひるとめぐさ上 ひるぐさ 江州 水蛭ニ吸ハせ血出と止ると云 らさきもん 勢州 鶉ニ喰ハするとよく治つくと云

山野濕地庭中に多く生ず 葉ハ圓くして鋸歯あり 胡荽の苗

葉ニ似て光澤あり 地 葉商ニ賣ル 地ニ 葉商ニ賣ル

石龍芮 まんてんそう 末ニ痛風ニ傳ハ毒

傳處ニ集り 一種 大葉の物 山中道傍ニ生ずる物葉おく五尖ありつ

一種 つがくさ 武州隅田川堤ニ生ず 葉ハ積雪

草つるて多く香氣なく互生一莖地を引て蔓く
根多ず莖間ニ黄褐色の足ありて實ハ純ニ
蔓の如くて大なり一名ニ蘡薁（和名ヤマブドウ）神農也ともに漂て久しきもの
螺厥草　まめづた　江戸　まめづた　いーまあ長州
相州大山の石上ニ多く苅ニ莖ニ細く絲の如く毛ありて葉ハ青大豆あとまめ
と割たる如く又長葉ニ而互ニ離也莖皆ニ實ありて
一種　小葉の物尾州より來る形狀同して但小なり

酢漿草　かたばみ　すいかぐさ　江戸　おおかたばみ　肥前
すゞめのさゝもち　越後

人家庭際ニ多く苅り宿根ありて生ず一莖三葉形田字草ニ
似たり夏月黄花を開く五瓣の黄色ニ紅色後長き角を結ぶ實
（面裂て子）
ハ中の仁を散乱す根ハ淺く赤色ニて長し

一種　赤花酢漿　ありかたばみ

形狀前種ニ似て莖葉
皆紅色なり

一種　ちいさなかたばみ　諸國の深山陰地ニあり形狀
全體ニ細ニして小根ハ山蕎麥ニ似
かまきり（但葉）ハ大ニ花淡紅色角ハ結ぶ

細一又白花の物あり又白花の物あり葉大きて厚

一種　れんりそう　尾州の産

餘花實と同じ

地錦　ゆきさき　ちくぐさ　蛇莓　故よりの名あり　一名小蛇兒卧單　救荒本草　撲地錦　本草原始　圓圃の中に夏月實ありて對生す

生ひ細莖蔓ありて三枝ありて葉ハ小く倉敷の葉に似て三枝ありて葉ハ白

少紅花を開き小圓子を結ぶ形大麻子の如く赤し

汁ありて甚澁渋の屬なり

休

一種　地槐菜　救荒本草　きつねのちやぶくろ　こねんさうと尾

宿根地を匍ひて夏月圓中より自生す葉ハ大麻葉に似て長く小一莖三

五葉互ひ附並び細くして高さ四五寸葉間より黄花を開く實ハ大

麻子の如くして小く葉背より垂下す

一種　地槐菜　救荒本草　琉球より來る　琉球ふき　桜櫂へ　ごぼう

より多くなり一尺餘八九寸にして生ず皂莢苗の如くして莖紅

色小蛇兒卧單　ゆきさき　救荒本草　紅花を開き葉背より實

と結ぶ形又引一ささうの如し

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

金瘡小草 附録 紫花きらんさう 大和本草 ぎてらさう 薩州 うーのえさ 土州 ぢぐくのかまのおさ 山野より秋冬より苗を生ず 形葬の似て葉ほそく圓く 莖葉帯紫色 春月茎間より小紫花を開く 後小白花を開き小實を結ぶ

又白花ありて葉緑色 一種ごらうニヒトエ

一種白花の物 笙葉緑色 すぐめのなを 一種 離間草

此草葉ほそく圓くして蓼藍の一種なり 尾屋垣籬の間に多く生ず 葉圓くして蓼藍の如く 莖細く蔓のごとく

仙人草 一名婆々納 救荒本草 破々納 救荒野語 いぬのふぐり 京ひよろかんさ 江戸 たむづる

石間庭屋上にも生ず 冬月實より苗を生ず 地に擴す 葉小にして一二分 初生の苗葉より似て小なり 春月葉間より五瓣の小淡紫花を開く 實ごとに二莢あり 形陰嚢に似て 又苦瓠の如く微毛あり

一種 くろばさう 岩きうり 同名 野州日光山より

葉小香薷葉に似て短小圓莖對生す 春宿根より生ず 三四月梢の葉間より白色まれて淡紅を帯る花をひらく 五瓣 形柳葉に似て

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407　ガラス使用

まつばうらそだ 狸藻

鳳凰そだ やまごぼうそだ 州浜

崖棲

さくすげ　たく柳さくらそだ 亀洲 きやうじょやさう

山中に生ず莖葉すげの属なり 夏の周りに白色なるをぎんざくざく 江とよぶ 根本三稜あり 夏小花穂ざくざくみて縦に数ありて扇のごとく 春月穂を生ず 莖の元に出づ

一種　短莖の物ありて莖長さ二寸餘根纍のまま苗を生ず 此二種證類本草の圖に符合す

一種　いとすげ　山中に生ず是亦莖の属なり 莖細くして三稜あり 夏の頃白色の小花を開く 根叢生す 細目圖する處是なり

苗地に擁して葉圓く指甲の大さ 對生一高さ三四寸 初夏に穂を生ず 一四瓣の淡碧色を開く 實の形二つ並びて深く納のごとし

一種　ラワタサウ　けいでくさう

仙人掌草

石間陰地の生ず 雁足蓼葉の類なり 一根叢生 初生八一並五葉 長ざれば人の手掌のごとく 後八九葉 (皆一莖に) とさかさまに 莖背の周りに實ありて證類本草に圖する處是なり

一種　ときさう　形けいでくさうに似て濶く五葉なり 莖中に白斑あり 冬凋まず

一種　うしのけさき　尾州　形いとすげの如くして
細きすじと猪毛の如く長さ三四寸四時凋まず穂小山菅まず
の如し　紫金ラン　ソクシンラン　尾
紫背金盤」　ゆるぎすげ　州
深山岩石の間に生ず　形剌虎に似てすこし
く莫の如く土上に引蔓背紫或紫色　小白色（對生）と開き實を
結ぶ形大さ椒粒の如くして紅色なり
一種　ながばすげ　深山に生ず葉小前刀莫羅
似て對生（並地より列来る）五瓣の小白色と開く形剌虎

花に似たり實ハ紅色百両金に似たり
白龍鬚　やや　ちらばすげ　ちらばすげ
深山の大樹（上に）生ず形石蒜に似て根甚（叢生）松蘿（ざるを）ふる
て直ニ一二寸莖中空なり
薤　萬纏草　解集　いとすげ
深山の樹皮に貼して生ず形綿の如く黄緑色枝なく下
垂す

紀州　岩石間に貼て生ず
葉呉茱萸に似て粗ク厚し莖ニ稜あり
葉生（對生）ニ似て粗ク厚ニ稜あり　背ニ稜あり
を帯　長二寸の葉を攅生し莖の葉と殊なり　芭蕉（互生）
葉ニ似て大さ五六分白色を帯ふ

本草圖譜卷之

世八卷

東都

岩崎常正 著

苔類

陟釐 かつもづく あとそのり あとそ

河の流水石上より生じて流るゝ従ふ長さ三四尺許糸の如く緑色なり

一種 水綿 時珍 あとみどろ 江湖の止水中又天水桶等にも生ず形毛の如く抹ゝ緑色池中の水涸くときハ乾て白色紙の如く又綿の如し 筑後柳川より来る物純

白色ニテ羊皮ノ如ク薦茶ノ説ニ此ヲ苔紙トイフ

乾苔　一名青苔海藻　俚下　弘景生百物

山陽ノ海中ニ産ス細シテ陳葉ノ如ク稍圓ク　いとなとさ　かわとろく　南部

緑色薄クテ乾ケハ形小長方一ナル諸國ニ多シ

一種　江蘺集解　一名頭髪菜　閩情　閩寄　江戸　とこ　とんこ　洲脚　うごくさ　播州

海中ニ生ス形兎絲子ノ如シ細シテ紅黒色ヲ帯ヒ乾スレハ黒シ

煮レハ緑色ヲ帯ル

井中苔及海藍　一名井中蒼苔　本經　逢原

此條ハ一種ノ物ト指シ難シ井中ノ久キヲ要スル生ヒ

ル雑草苔類ヲ云ヒシヲ藍ヲ以テ消毒ノ物ニ用ユルカラ

船底苔

ふねのそこにはえる苔にて形扇のごとくして石苔の如く薄く緑

褐色長さ二三寸なり

石蕊　一名蒙茶　廣東新語　そるもけ　そらごけ

石上ニ生ス形花蕊ノ如ク長サ二三寸細枝ヨリ松蘿ニ似テ

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　ガラス使用

直ち手自色すして微淫緑を帯ふ

一種 ○まつおごけ
古き茅屋の上に生ずる形松葉の如くして
頭ち紅色(まつのめさきのごとくして)の花を生ず(雪)芝に似ておなし

地衣草 ぢごけ あとごけ びろ〳〵ごけ

蔵器説ニいろいろ地上一面に生ず一形鷲毛絨ひろ〳〵の如く緑色ありて若干
一種 ○みずごけ(淫山陰濕の地に生ず形びろ〳〵ごけよう粗く淡緑色又白色を雑ゆ茅木の根を包遠く寄に用ゆ)
大明説ニいろいろせみごけ石だやらごけ陰地の地に生ず形雲頭の如く出石に貼す緑色處に随ひ又蓋を抱て實ありて形蒂の如くして角あり

仰天皮釋名 ○石上衣(聖濟總録)地上緑色又掌色ニなりたる處日に晒れ戦ニあひて反巻せる物なり

壇衣 一名墻上青衣方金つんぢのごけ
枯りべい又かべごけ生ずるびろ〳〵ごけなり初生ずる時虎斑紋の如く緑色春月花ありて蕊糸の如く上に点あり
屋遊 やのべのごけ名飲 やねのごけ
年古き茅屋上に生ずかつて生ずるびろ〳〵ごけなり

昨葉何草 つめれんげ(江戸)
古き茅屋板屋瓦屋等の上に生ず又庭際盆中にも載葉の形

形海州骨砕補ふの如く根細茶の
如く蔓延す葉長さ四五寸より至る
百藁草 附録 一名百乳草 証類本草 拖白蘇苗 救荒本草 かゝみびきさう
山野陰湿の處に多く春月宿根より生ず莖高さ四五寸
葉間ゝ五瓣の小白花を開く實も又まつみ似たり根ハ桔梗よ
似て瘠小白色なり
土馬駸 すぎごけ 山中陰地より生ず杉の苗に似たり
葉長さ一寸許 莖高さ二三寸 上より生ず一地衣の如く一根だいとふ細莖と抽ず末ハ稗の如き

形海州骨砕補ふの如く莖ハ高天の如くなりて紫色を帯ふ根細茶の
如く蔓延す葉長さ四五寸より至る
百藁草 附録 一名百乳草 証類本草 拖白蘇苗 救荒本草 かゝみびきさう
山野陰湿の處に多く春月宿根より生ず莖高さ四五寸 葉間ゝ五瓣の小白花を開く實も又まつみ似たり根ハ桔梗よ
似て瘠小白色なり
土馬駸 すぎごけ 山中陰地より生ず杉の苗に似たり
葉長さ一寸許 莖高さ二三寸 上より生ず一地衣の如く一根だいとふ細莖と抽ず末ハ稗の如き

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407　　ガラス使用

實ある草の類

一種　かくさごけ　州尾　根ハ絽系の如く處こ〻に生ず　形蓮
葵よりやゝ小く小錢のごとし

巻栢　いえごけ　同上　いえひげ　江戸
一名長生草　秘傳　花鏡　萬年松　同上　廣東新語　苔松

葉こ〻深山の岩石間に生ず葉ハ扁柏ひのきのごとく一根數葉生じて
圓く座のごとし冬月ハ巻夏月展其尖葉たゞ側栢に似たり

一種　とらげひげ　華容にて倒栢に似たり

一種　すなのひげ　葉短く長こと數寸ありて

一種　完州巻栢　紹興備　多本草　ひめひげ　州尾　かくひげ
根莖となりて出中ゟ引處こ一葉を生ず巻栢葉の如し

地栢附錄　あさごけ　京　やくらごけ　江戸　そいさんごけ　尾
おくとごけ　山中陰濕の地に生ず形花栢さゝ葉ゟ多くして
粗く形石松ひげのごとし出上一面ゟなる又細葉なる
物あり

倉生草附錄　あんざんじゝ　荷蘭ゟ
云ロウツハ草を云ハンハ助語エルガウハ國名なりと云和漢ニ一
已爾脊亜一國の産を荷蘭船來る　婷婷巻栢　一枝　枝ゟ枝間ゟ花あり　長さ

浸せバ開きかる手の如く一根無ことなりて

婦人

臨産の時水ニ浸し開くときハ安産す故ニ名づく

玉柏　まん弁ぐさ　新校正　まん弁ぐさ　野州　日光

野州日光山ニ多し中腊潤ありて形状扁細密ニして軟

直立して枝幹ニ高さ六尺許夏月梢ニ穂と生ず嵐の尾ニ

似て黄色なり

一種　千年松　物理小識　高野のまん弁ぐさ　野州

一茎ニ長さ一二寸頂ニ五葉ありて地衣　びろうど苔

貯水ニ浸せバ緑色生ずること如し

石松　ひろげのかうら　ひろげくさ　さろごけ　新亭

かごたすき　てんぐのたすき　さるとがせ

木曽山中及野州等ニ多し形玉柏ニ似て茎の

出ること五七尺長さ五七尺ニ引處ニ根を生ず人家ニ載て育ーでさー穂も玉

柏と同じ

一種　おすひのづら　江戸カメカメコンリ　姫皮　木曽山中ニ多し

葉ニ短葉の細なり葉窓ニ生ず

青苞松ニ生ずるぜにごけと同じ

艾納附録　まつのぜにごけ　松樹皮ニ生ずるぜにごけ

なり青白色又梅樹ごも生す一種きのこと云ふり形ハ
艾納ごゆて粗く色又多し　木實　駿州阿倍川傍ハ石蕊草
馬勃

雑草

百草　百草戻　證類本草　五月音百種の草を採て戻ご焼
なる物なり一説ご北ご名戻ご加金瘡の血ご止ご用ゆ又俗ご云百
草ご五月五日ご採黒焼ごそる百草霜物理小識なり一説ご午時
澤漆蕨菜ごご去て入ず姙婦のため除くごご云傷寒時疫熱病
等一切の内熱ご解し血症等ご功あり

とふふさべ　やぶだまみくつぶし　いーのとさ　駿州　かころだま
きつねふくろ　江戸　きつねのちゃぶくろ
雑木林の間ご湿の陰地ご生ず茎ハ赤色ありて小なる八孝の如ご夫ゆる八毬の如く
鱗ル八黄粉出つ刻ご八草綿の如し　血ご止む
一種　つちかころじ　江戸　やまぶき　ぢがき　つちふぐりのごバ　和州
樹下の陰地ご生ず圓しご扁く細ご硬く黒褐色秋
月八九瓣ご裂て内ご白斑あり中ご馬勃の如ご草綿の如く
粉出つ大さ大豌豆の如し
一種　陰地ご生じて皮ゆく馬勃ごおて少ゆる物なり

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号　特1-3407
ガラス使用

百草花　春月百花盛ん開とき採て家大嫌ひ製ス

井口邊草　井の中ニ甚敷類繁足草等生ずる所

をもて用ゆ一種ニ非ず

樹孔中草　木の朽穴ニ生ずる草類なり

産死婦人塚上草　此ハ難産ニて死しもの墓の上ニ生ずる草なり

燕薺草　つくめの葉ニ似る草なり

豬窠草　又豬窠中草獣部豕ノ條下ニ出ス

烏喙草　一名牛轉草　一名ヨゲ　一名鉤吻　一名泉州　一名野葛

牛齝草　（牛の齝て又吐出したる草なり）

蒴藋　一名接骨草　本草　をだまき

アリノウエリギヤシベリヤ荷蘭

人家庭際ニ植春宿根より生ズ三枝九葉ニ花を開き一尺許春月五瓣の紫

葉の如く又紡錘ニ似たる物を圍ミ一高さ一尺許春月五瓣の紫

碧色を開く（花の下を囲ミ辨の端ニ開く節の如く曲り花の角切り形葉巻ニ似り實ハ

五角合ニて牛扁莢の如し中ニ細黒子あり

一種　八重をだまき　木曾山中ニ自生ス辨ス

狹ニて數千重ニ切り碧色ス

一種　白花の物あり形状碧花の物と同し
一名つるおだまき　皆根の形色烏頭に似て長く肉白色なり
一種　かきつばた　葉粗大にして莖紅紫色
高さ二三尺花形同しくして莖色なり
一種　黄花とだまき　形状かきつばたの物に似て花
黄色なり
一種　わうごぞう　葉ハとだまきに似て稍大にして花ハ
紅紫色餘雑なり皆根烏頭に似たり
一種　ひめしづ　又こんかさうとも云冬月藥根
より苗葉と生長形状とだまきに似てわく春月わ白花を

實もとだまきに似てわー根小指の大さ形色烏頭に似て連
珠となるすべて藥本草にアジユイレキアアケレーエンハ癪症
を治し黄疸を治す小便を通し一月經を通す水腫の初
發の用も小兒痘疹の用も離産を脱出す耳痛耳鳴と
治すと云

吉祥草　一名吉祥蘭　福州府志　觀音草　天台山方外志　竜ひげ
人家庭隂に栽葉ハ萱草に似て短く深緑色冬凋まず
秋月根より莖を出して二寸許六瓣の紫花を開き穂を生して二寸許六瓣の紫花を開き
春に至りて實ると結ぶ紅色南燭の如し　稗峯ら百花

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

詩よ白花開き花中に花開くと吉祥あると詠ずる
詩ありし乱草萋々寂止百獨推此草不尋常一朝蓼色
花能試可卜其家百吉祥又一種
一種　琉球種ありて葉長くして一尺五寸許形建蘭の
似たり十月根の傍より穂を生じ長さ三四寸花色同くして
大なり
雞脚草　一名油點草　西陽雜俎の一種　竹茉　中山質問
おとそぎす　セリンテ羅甸ゴロートニリユ荷蘭
處処山澗より有り春月宿根より生ず葉八百合ありて淵く

葉間より莖もろともに同じて黄色なる
一種　雄生して黄色の物多し　江戸
刺虎　名虎刺　雌雄異株
三寺庭木譜　ことごとまず　ゆうごろし
移うえやすし　駿州
豆州駿州等の暖國の山中に多し　葉小木
葉小柞木つげに似て尖り對生　小白花を開き紅實を結ぶ
北即巴戟天の一種細葉なるものなり
黄苑子　一名石芥　救荒本草　くさやまき　やまおさごう
彫雲の證類本草より圖なり　山野に自生
弘二月宿根より生ず

葉小一莖より七葉九葉對生　龍芽菜　きんみずの苗中に似て
黄緑色毛莖あり三四月莖を出し四瓣黄色大さ棣棠花やまぶきの如く末大なり　形狀
實を結ぶ一寸許根の形雛
脊升蔵ものにて黄黒色節多し味辛し　雖芥又蘇中香　みずの如し
菜の如し　丈余重辨の物あり　形狀
一種　茼蒿葉に似たるものあり　の圖
百兩金　なりたちでなし　山草類より圖出なり
地茄子　ほそのなすび　唐土　と唱名　うしてこべ
ニュムミユラリア　羅甸　ペンニンクコロイト　蘭　形狀蕨葉に似て
葉小く厚く光澤あり　莖細く少莖ありて
莖葉共のむらさきを帯ず黄小蕨葉に似て

…夏月葉間より五瓣の小黄花を開く
實ハ茄なす科にて緑色ゆゑ
田麻　あさくさ（本草）からすのごま　のいちび
野ニ多く實より生ず形状茼麻ぢさに似て細く高さ
一二尺葉ハ苧麻ちょまに似ておくに秋月五瓣の小黄花を
開き莢ハ長さ一寸許赤小豆角より細く中ニ細子有り加州
一種　ろそくさ（江戸）くそぢ
田野ニ生ず葉ハ桑ニ似ておくに小缺
をもすこし故ニ田麻の雄なるとゝ云

苧心草　てまりくさ　山谷ニあり
泉草ごけニ似て白色を帯ひ細
引處ニ根鬚を生ず春月葉中より莖ニ
末穂をなす四瓣の白花を開き
苦苧子　さるそばん（荷蘭名）元荷蘭の種なり
秋月實より生ず冬ニ死葉ハ苧麻の如く莖ハ圓にして一
其精葉ハ柳葉ニ似たり高さ一二尺許
四瓣の白花を開く過半葉ニ
缺ける軍配團ニ羽の如くおなじ
のごとし

信州上田宿ニ
石間ニ生ず葉
頭尖葉ニて
莖ハ細く特生
三月穂をなす
四瓣の白花あり

二種ともに
往古のつめ州
引處ニ根鬚を生ず春月葉中より莖ニ
江州伊吹山ニあり　冬月より葉ハ通

明音草　えびすさう　濕地平類營養地ノ

一種ヨ圖ノ

獨脚仙　くまがいさう　春月宿根ヨリ生ス

武州道灌山及早稲田竹林陰地ヨリ多ク

莖高サ五六寸末ヨ二葉對生シテ圓ク傘ヲ開クガ

如ク（野州日光ノ葉中ヨリ莖ヲ抽テ上ヨ四葉ノ

ノ如ク一方ヨ口ノ形火ノ穗嚢ヲ附ク

紋廉ノ根ノ行根ノ如ク節ヲ（細毛）

一種　もとき　野州日光　こがつそう

野州日光山ヨノ形狀カノ（ヨ）ヨ

も相似テ小ク（實ハ蓮華ノ葉ヨ似タリ）

一種　あつもりさう　（信州戸隠）　野州日光

（カルセオリヤエパーパンスクイ齣）

て四五葉莖ヲ抽テ生ス　莖ノ末ヨ一花ノ形カノ

と同ジ（葉色ヨ紫ヲ帶ブ）根モ又カノ

一種　野州金精山ノ下及駿州富士ヨ

五方ヨ過ズ高ク一方尖リ鳥冠（ヒエルカレ齣）

其上ヨ穗ノ形ノ（ムリユチル）ヲ開ク　薩摩　ちんぎく　花ノ

撮合草　ちんぎさう　薩摩

二、
二月苗を生ず（宿根より）葉は菊に似て（きれこみ深く大鋸歯あり）
稍の葉間より莖碧色（稍紫色を帯ぶ）形蓬の如く
節間より根を生ず（莖地を掃ふ）葉は蘭の書に肺癰咳嗽
腫瘍疾苦破裂を良し（辛中と苦人に良し蓬蒿薇油を加ふ）
頭痛を治す又蓮痛を治す（葉は蔬とす）

一種　菊葉あこさう（夏枯艸に非ず）　野州日光山より
伴て毛莖は艾馬蘭ぎく葉に似て長く（莖地を掃ふ）
方莖對生（三月筒様の莖を開く形黄芩花に似たり）

一種　葉同て節に莖色（夏に入て莖色を開くことのなり）

一種　つるかこさう　つるうが
葉はきんぎょさうに似て小く高さ二三寸花莖莖色後
蔓をなして五上ること一二尺處に根を生ず

一種　いえぎしや　武州豊嶋の水邊砂地に多く冬月
葉はきんさうに似て（毛なく光澤あり又費葉さし込んで
胴ず）開花

鉛蓮華に似て圓く切り對生す二三月穂を生ず高さ一尺許
粉莖色を開く形夏枯草にうが花に似たり夏月別に蔓之生
ず（五上ること一尺）節ごとに根を生ず

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

露筋草　きゝやうらん

琉球産なりとぞ庭際多く栽形萱草に似て四時凋まず
葉長さ二三尺春夏の間新葉を生ず葉中莖を抽て
高さ二尺餘枝をわかち五瓣の小碧色を開く形桔梗色に似て
小し實ハ麥門冬に似て長く雙生す根ハ骨碎色なり
根の形萱草に似て硬く塊なし

九龍草　きがしらさう　尾州　みづいちご　やまもゝさう
ミニヘミユラリス　羅甸　クリユシアタ　荷蘭

武州多摩川の水邊濕地に生ず又水中まれなり小草なり
葉ハ水蠟樹に似て小く光り背ハ淡綠色圓莖二對生して夏
月高さ四五寸葉間より莖を抽て小く對生
似て小し

一種　水田中に生ず馬歯莧ひべりゆ
莖紅色實又きがしらさう同じ

茘枝草　即天名精そやふだこなり

通骨草　めそしきまて莠蔚なりべし

蛇眼草　わらびこだ　おおばこだ

井中の邊山蔭等に生ず仙人掌草けいだいさうに似て畧大

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号 特1-3407
ガラス使用

一莖三葉或五葉深緑色ニして表裏ともに光澤ありて背面褐色
の長き眼のあらき實ありて

一種　葉短くして葉中より淡黄色の斑ある物の事なり

耳環草　ハつめくさ即鴨跖草なり

天花菜　一名蝦夷菜　類菜　いぬのからし　ところづめ　羽州米沢　平野道傍水側に多し

宿根より生じ春夏の頃高さ五六寸穂をなし四瓣の小黄花を開く細角と結實長さ四五分葉狹微辛一根白色細長なり　癇疳瘡に奇功あり

砕米柴　ハ砕米薺と別なるべし

羊屎柴　豬蒼　濕草類　附餘よりも詳なるべし

葉下紅　ハ百病全方に虎耳草ハこれのみとあるもののことなり

滿江紅　水萍ともさの一種なり圖ハ前に見ゆ

蔓頭回　蔓本草の蔓頭灰ハこれとハ別なるべし

特 1
3407

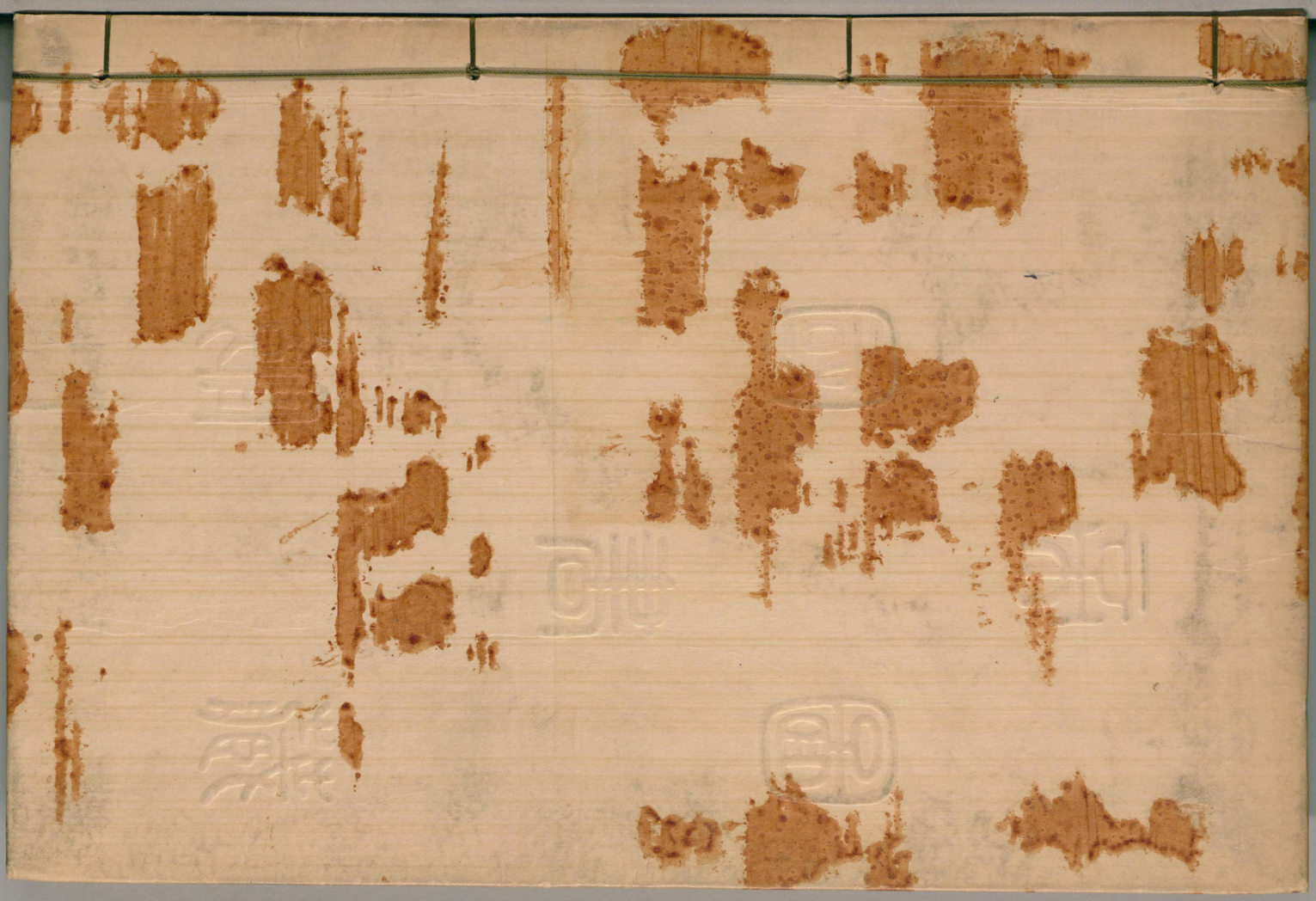
国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407
ガラス使用

特1
3407

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草図譜』　請求記号　特1-3407

ガラス使用